

JIA 関東甲信越支部 交流委員会 法人協力会員 企業紹介

■企業名称：日本ビー・エー・シー株式会社

■担当者：営業第一部（開発） 木原 崇

■企業概要：東京都世田谷区新町 2-27-4

03-5450-6161（代表）

baej.tkihara@sinko.co.jp（担当者アドレス）



■交流委員会 所属グループ：F グループ

■企業紹介： 日本ビー・エー・シー株式会社は、BALTIMORE AIRCOIL COMPANY, INC（本社；米国メリーランド州）と新晃工業株式会社の共同出資により設立されました。

BALTIMORE AIRCOIL 社は 1938 年の設立以来、蒸発式冷却装置（密閉式冷却塔、開放式冷却塔、蒸発式凝縮器）、氷蓄熱装置の専門メーカーとして長年の実績と高い技術力を誇る業界トップの国際企業であります。

日本ビー・エー・シー株式会社は BALTIMORE AIRCOIL 社の豊富な経験と高い技術力を生かし、氷蓄熱装置の国内トップメーカーとして省エネルギー無公害時代における産業の発展と生活文化の向上に資すべく絶えず努力を続けてまいります。

地球温暖化問題は、日本ならびに世界にとって未来永劫に続く課題であり地球環境を守るためには、温室効果ガス削減の可能性を追い続けることが重要となっています。日本は、2050 年カーボンニュートラルの実現、また、2030 年度に温室効果ガスを 2013 年度から 46%削減することを目指しており、そのためには再生可能エネルギーの導入が不可欠となります。しかし、再生可能エネルギーによる電力の安定供給には課題も多く、ただ導入すればいいというだけではなく、それらをどう活用していくかが重要な鍵となります。

日本ビー・エー・シー株式会社の氷蓄熱装置は、再生可能エネルギーを有効に活用するための受け皿として、エネルギー政策に大きな役割を果たしていくことで、社会に大きく貢献してまいります。

■コメント： 1976 年の設立以来、冷却塔、氷蓄熱装置の製造販売を行ってまいりました。

氷蓄熱装置に関しましては、1984 年に外融式アイスチラー®氷蓄熱ユニットの国産一号機を納入して以来、38 年間という長期間にわたりそのノウハウを蓄積してまいりました。エネルギー事情の変化により、蓄熱システムの在り方も大きな変化が求められている今日、これまでの蓄積を変革に変え、

- ・ DR（Demand Response）
- ・ BCP（Business Continuity Planning）

- ・ VPP(Virtual Power Plant)
- ・ 再生可能エネルギー

これらのキーワードのもと、氷蓄熱の新しい価値を創造していきます。(写真①)

また、BACの原点ともいべき冷却塔では、国内他メーカーにはないオリジナルな製品を取り扱っています。

BAC創立時からの技術を受継いできた、高機外静圧タイプで室内設置や高度な騒音対策が可能なVX型押し込み通風式冷却塔(写真②)をはじめ、これまでにない画期的な最新技術搭載を搭載した新製品

”NEXUS®・モジュール・ハイブリッド・クーラー”

の販売も開始しました。熱交換器にプレート式を採用し、コンパクト化とともに熱交換効率を大幅に向上させています。

これからも日本ビー・エー・シー株式会社は、伝統技術と斬新なアイデアで「こんなことできたらいいな」を実現していきます。

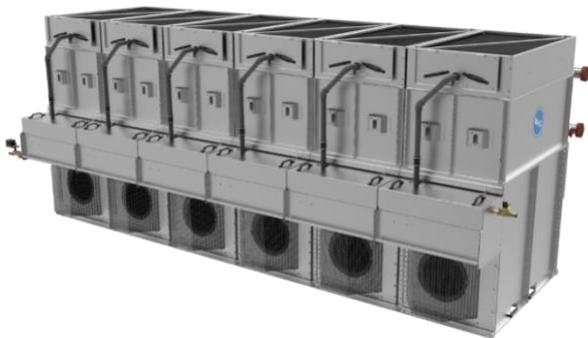
詳しくは弊社ホームページ (<https://baci.co.jp/>) をご覧ください。



写真① アイスチラー°氷蓄熱コイル



写真② VX型押し込み通風式冷却塔



写真③ NEXUS®・モジュール・ハイブリッド・クーラー



【地球環境への貢献はもちろん、建築デザインの自由度にも貢献できる製品です。JIAの交流活動を通じて、機械設備に携われる方とともに、建築設計の方にもBAC製品の特徴・利用価値を知っていただけたら幸いです。】